

目次

D IV - CV - 1st - 1★訴状20190314.....	2
D IV - CV - 1st - 2★証拠20190314.....	14
D IV - CV - 1st - 3★甲12号証 - 反訳書.....	21
D IV - CV - 1st - 4★甲13号証 - 反訳書.....	27
D IV - CV - 1st - 5★甲14号証 - 反訳書.....	29
D IV - CV - 1st - 6★甲15号証 - 反訳書.....	31
D IV - CV - 1st - 7★甲16号証 - 反訳書.....	32
D IV - CV - 1st - 8★準備書面③20191125.....	39

前橋地方裁判所 御中

原告 今井 豊

訴状DⅣ

原告

住所 〒379-1303 群馬県利根郡みなかみ町上牧 3158-1 職業 農業
氏名 今井豊(昭和 36 年 3 月 9 日生) 電話 携帯 090-3087-1577 FAX 0278-72-5353

被告

住所 〒379-1303 群馬県利根郡みなかみ町上牧 3158-7 職業 無職
氏名 廣橋絹代 電話 携帯 090-9132-3984

慰謝料請求事件

請求金額 10 万円

ちょう用印紙額 1 千円

第 1 請求の趣旨

被告に後述の加害行為(不法行為)が有ることを前提に、

1 被告は原告に対し 10 万円を支払え(今回は試験訴訟です)

被告が包囲網として加害したことは明らかであり、摘発されるべき包囲網の各人に請求すべき慰謝料は、一人当たり 3,000 万円と想定しております。

2 2016. 4. 25 覚書(使用貸借契約)が破棄済であることの確認を請求します

3 被告の即時立退きを請求します

4 訴訟費用は被告の負担とする

第 2 請求の原因

(廣橋絹代は私の亡父の末妹、つまり叔母です)

1 被告らは後述の通り、言動による脅迫と音による脅迫を日常的に繰り返し、その不当性を演出して包囲網の威力を示し、私の生命・財産・自由・名誉への無言の脅迫を重ねました。
これらは叔母夫婦であり隣人であるという立場や使用貸借の恩恵を一方的に享受している立場から見て、正に非人間扱いであり、そこに威力脅迫の意図がはっきり現れています。
同時に共謀による村八分であり、信義則(民法 1 条)と公序良俗(民法 90 条)違反です。
また人格権(憲法 13 条の自決権や幸福追求権や憲法 29 条財産権)の侵害による不法行為です。
これらの被告らの不法行為によって著しい恐怖と屈辱を受けました。
よって民法 709 条及び民法 710 条の一般不法行為責任もしくは民法 719 条の共同不法行為責任に基き、被告らに対して慰謝料を請求します。

もし、いずれも適用可能であれば後者を適用願います。

2と3 後述の通り被告らは、被告らの加害(不法行為)を理由とする私の内容証明の申出を一方的に無視しました。

内容証明の内容は①被告らの加害が受忍限度を超えたことを理由として、②覚書の破棄、③一年後の立退き、④出資金 200 万の元利共返還、でした。

つまり事情変更による契約解除であって、お互いに信義則に基いて覚書を結んだ以上、どちらか一方当事者に信義則違反があれば社会通念上、取り消されてもしかたがありません。

ですから加害(信義則違反による不法行為)が無いという返事だけは当然に不可欠でした。

加えて、使用貸借というのはその性質上、対等の契約ではありません。

被告らはその使用貸借の恩恵を一方的に享受する立場なのですから、無視すれば恩義有る地主の権利が一方的に損なわれるのは自明(予見可能性)です。

取消せないなどというのは虚偽ですし、一方的に無視するのは別の信義則違反です。

被告らには、加害を否認したうえで立退けない正当理由を示すしか無かったはずですが、

ですから、この内容証明を一方的に無視すれば、記載内容を認めたものとみなされる結果となることは、一般人として当然にわかっていたはずですが、

したがって加害行為の存否にかかわらず、申出を無視したまま立退き期限が経過したことを別の信義則違反(不法行為)として、覚書の取消が成立すると考えます。

それなのに被告らは常に、取消不能である旨の虚偽(公序良俗違反)を言い張り、また警察を口実に使って逃げ回り、一度も最後まで話し合いに応じておりませんし、また、立退けない正当理由を一度も示しておりません。

同時に私はいつも新たに起った加害について抗議していたのであり、加害の張本人達が目の前に居るのに彼らの弁護士を通して、目の前の被害の解消にはなりません。

こうした状況を隠蔽して来た沼田署も大いに問題であるのは別事件でご承知の通りです。

出資金 200 万については、絹代の犯罪的性格を類推させるものとしてご参考下さい。

あくまで貰ったと言い張るのなら、当時の 200 万円と等価のご祝儀を求めたいところです。

被告らのこうした対応は、正に鬼畜であり、詐欺的で著しく信義則違反であり、更には公序良俗違反です。

★事情変更による契約解除の要件

要件 1 契約締結時その客観的基礎となっていた事情の変更

要件 2 1につき契約締結時の当事者に予見可能性が無かったこと

要件 3 契約締結時の当事者が 1につき無責であること

要件 4 当初の契約内容に当事者を拘束することが信義則上著しく不当であること

要件 5 解除の意思表示

第3 不法行為の説明

被告らは以下に記述の通り、Ⅰ言動による脅迫とⅡ音による脅迫を繰り返し、組み合わせて私の生命・財産・自由・名誉に対する無言の脅迫を行いました。

個々の記録自体が脅迫であり、その多数の集積が実態だと考えますが、全体の態様として被

告らに加害の意図が有ることを確信していただければ本訴訟の目的は達成されると思いますので、不法行為は全体として一つと考えます。

I 言動による脅迫

不法行為 1 1997 年に手渡した出資金 200 万円を詐取したこと(時系列 6)

(説明) この経緯については「廣橋絹代の詐取の意図について」(甲 9)に記述の通りです。このように廣橋絹代は親族関係を悪用した、れっきとした詐欺犯です。

既に公訴時効もしくは債権の消滅時効にかかっておりますが、私が返還意思が無いことを知ったのは事実経過 6 の調停ですから、これも信義則違反と公序良俗違反による不法行為です。なお、私が返還請求しなかったのは、株式同様の出資金であるから期限は無く、いつでも請求できるものと思っていたためです(民法知識の不足)。

(1) 以下のように、蓋然性として一方的に贈与するような状況ではありません

①「1500 万円出してくれれば二世帯住宅になって貴方のご両親も住める。そのほうが貴方も安心でしょうからそうしませんか?」と絹代から資金提供を持ち掛けたこと

「話に乗りたいのはやまやまだが今は住宅取得直後で全く資金的余裕は無い」と一旦断わったのに「そこを何とか少しでも工面していただけるとたいへん助かります」と執拗に喰い下がるのでやむなく応諾したものです。

②「もう登記は済んでしまったので持分は入れられませんが・・・」と言ったこと

これは渡した時点では贈与とは認識していなかったことを示しています。

私は「先日の話のお金です」という趣旨のことを言って渡したと思います。

少なくとも無条件に「使ってください」などと言った憶えはありません。

このように都合の悪い事は全て否認し、更に私の発言を捏造しています。

「それならなぜあの時、借用証を書かせなかったのか?」との厚顔無恥ぶりには呆れます。まっとうな人間なら黙っていても何かしら受取証を出すものです。公序良俗違反です。

③1993 年の住宅取得から間もないので資金的余裕が無いと一旦断ったこと

住宅ローンを抱えていた事実や無担保カードローンから工面した事実は証明できます。

④自分はビター文もご祝儀を出していないこと(そんな一方的なつきあいはありえません)

そもそも私の住宅取得の際には、廣橋絹代は一銭もご祝儀を出していないのに、甥である私から一方的に 200 万円もの大金を貰えるはずがありません。

それに贈与のつもりはないと、本人の私が何度も主張しているのですから、普通の親戚であれば当然に「それならなら元金だけはすぐに返さなくてはね」という話になるはずです。

少なくとも元金を返さないことに正当性はありません。

⑤そもそも贈与すべき立場(無償の居候)なのは絹代のほうであること

不法行為 2 立退要求を無視して不当に居座り続けていること

不当な居座りを堂々と続けることは、視覚的にも見せしめであり村八分への加担です。

2014. 12. 12 に私の父が亡くなり(甲 6)、廣橋絹代らの居住権は一旦消滅しました。

私は、覚書締結後は音による加害は当然に止めるだろうと甘く見ていました。

恩を仇で返そうとする人間は世の中にそんなに多くないと思っていたからです。
被告らは、居住の法的根拠を得たことによって、逆に増長したのだと思います。

(1)内容証明を一方的に無視したこと(時系列 2、5、甲 8)

つまり民法 412 条 3 項の催告を行い、一年間の催告期間が経過しました。

この内容証明を一方的に無視すれば、記載内容を認めたものとみなされる結果となることは、一般人として当然にわかっていたはずです。

したがって加害行為の存否にかかわらず、申出を無視したまま立退き期限が経過したことを別の信義則違反(不法行為)として、覚書の取消が成立すると考えます。

(2)内容証明を一方的に無視した不当性を認めないこと(時系列 6～8 他多数)

被告らは「私の覚書破棄が一方的だから認めない」と今頃になって言い張っています。

しかし、被告らは一方的に利益を享受する立場ですし、また加害者ですから、適法への期待可能性として、同意を求めるだけ無駄であることはわかりきっています。

(3)「覚書は取り消せない」と抗議しても執拗に言い張ったこと(多数)

廣橋絹代は、「取り消さない」ではなく「取り消せない」を何十回も繰り返しています。

これは私的自治の原則を踏み躪り、公序良俗にも信義則にも著しく違反する暴力的発言です。
その証拠に、立退けない正当理由を一度も示しておりません。

(4)最後まで一度も話し合いに応じていないこと(実質的無視)

警察や詐術などを口実に常にその場から逃れました。

(5) 私の所有権(憲法 29 条)を否認したこと(甲 16、甲 36 他)

(6) 解除の意思表示を無視したこと

俺が出で行けて言ってるのに、なんで出て行かないんだよ?(甲 12 反 P2 中)

立退きます、立退きます、それは立退きます。(甲 12 反 P4 中)

私はそもそも犬を飼うことなんか認めてませんよ? 地主として。どうしてその犬がまだ居るんですか? しかも毎日のように啼いてるのが記録されてますよ?(甲 14 反 P1 中)

不法行為ですよ? これは。もう即、立退き理由になりますよ?(甲 14 反 P2 中)

警察呼んでください、あの、即、即、立退きを求めます。(甲 14 反 P2 中)

不法行為 3 威力を示唆する数々の発言をしたこと

「みんな知ってることだから、役場がね」(甲 12)

「自分が恥だよ? 貴方、あたしゃ恥ずかしいよ、本当に」(甲 12)

「貴方みたいな人に何を言っても無駄です」(甲 14)

「あんなもの回したって、貴方が敵に回すだけ、みんなを」(甲 16)

「狂ってますのは貴方ですね、誰が見ても」(甲 16)

「思ってませんよ、貴方の言うことなんか。警察に聞いてごらんなさい」(甲 16)

不法行為 4 ペット(特に犬)禁止の通告を無視し続けたこと

元々の紛争の発端がこの犬ですから、道義的にも無視できるはずはありません。

不法行為 5 犬啼きの加害を放置し、更にはエスカレートさせたこと

日常的に啼かせ続け、いくら抗議し飼主責任を追及しても「コントロールできるほど利口な犬ではない」と居直り、さらには認知症の夫までも口実に使ったのは正に狂気です。

また、留守中に犬が啼き続けた場合、被害者としては携帯しか連絡手段が無いのに、それをずっと着信拒否(20180505 11:16 他)にし続けたことは飼主責任の放棄に他なりません。

II 音による脅迫

音による加害の本質は、張りつき・つきまといによる包囲網の威力です。

つまり、24 時間・365 日の常時監視下にあることを私に認識させ、圧迫感や閉塞感を与え続けて精神的に追い詰めることです。

ですから音の大小、つまり騒音としての程度にはあまり意味は無く、むしろ日常的に行なわれている点こそが重要だと思います。

まず犬啼きは、20180724 詫び状(甲 40)提出以降、顕著にエスカレートしております。

抗議などすれば逆に酷くなる(反復と激化)というのは包囲網の威力の特徴です。

ドスン音については、いくら否定したところで音源の方向には廣橋宅しか在りません。

これらの加害は、私の自宅の敷地内という逃げ場のない状況の中で日常的に繰り返されて来ており、平穩に暮す自由を踏みにじり直接的に自治権を侵害するものであり、卑劣としか言いようが無く、非人間扱いによる屈辱と怒りで身の毛がよだつ想いです。

しかしこれらは記録がたくさん有る為、特に顕著な日だけ選んで摘示します。

A ペットの犬や猫をけしかけて啼かせること

そもそもの加害の始まりは、飼犬サンを深夜に鳴かせることでした。

当時、サンの犬小屋は私の家に隣接して置かれていました。これもふざけた話です。

30 分なり 1 時間間隔で、私が諦めて起床するまで断続的に執拗に啼かせました。

その後、私の苦情によって、廣橋家の北側に移設され、それでもおさまらないので約 3 年前から現在のように屋内で飼うようになりました。

最近多いのは、留守中にサンが屋内で啼き続ける現象です。

一年前まではほぼ全く啼かなかった点からも、故意に啼かせていることは明らかです。

なお廣橋絹代は猫も何匹か飼っており、たまに猫を使うこともあります。

☆深夜のサン啼き

20150722-0421、20150729-0356、20151011-0534、20151013-0536

☆留守宅内のサン啼き

20170617-0924、20170720-1047、20170722-1303、20171003-1004、20180423-12:47、
20180424-0957、20180505-1107

☆特に顕著なサン啼き日

20161126、20161227、20170918、20180702(甲 35～甲 37)、20180723(甲 38)、20180820、20181014、
20181023、20181024、20181027、20181103、20181111、20181112、20181216、20181217、20190215

☆狙って啼かせていると思われる日(タイミングの恣意性)

20190123、20190125、20190130、20190312

B 玄関扉の解錠音

20160623 申入書にて起床時と就寝前だけにしてくれと申入済です。 20171119-0752

☆説明の付かない不審な行動 20171211-1717 連続 10 回、

C 裏口扉の開閉音

20160623 申入書にて、常時開放にしてくれと申入済です。

☆説明の付かない不審な行動 20160425-0656 連続 17 回、20171110-0404 連続 10 回

D 雪降しを口実にした金属音

2016 冬のある日のこと、屋根の上からガリガリと大きな音がしたので庭に出て見上げると、絹代が 2 階ベランダ越しに私の家のトタン屋根を金属スコップで擦っていました。

「何をしているんだ?」と私が訊ねると、「きれいにしたいから」と絹代が答えました。

「何の為にきれいにしたいんだ?」と私が再び訊ねると、答えませんでした。

「答えろ!雪の中で何の為にきれいにしたいんだ?」と思わず全力で怒鳴りましたが、やはり答えませんでした。

これは全く説明のつかない不審な行為ですし、私の大声は近隣にも聞こえたはずです。

この事実についても廣橋絹代は全面的に否認しています。

E その他の不審な行動

20160623 申入直後の 20160701-1502 では網戸を 4 回連続で不必要に動かし、2 階ベランダの金属扉を動かしています。

申入に書いてない事をやろうとする意図があまりに露骨で笑えます。

F ドスン音

そんなに大きな音ではありませんが、サンドバッグを叩くような鈍い音で、音質として暴力的で脅迫の意図が鮮明です。 少なくとも日常生活音ではありません。

つまり、日常生活音ではない説明の付かない音が日常的に廣橋宅内から響いています。

2016 年央以降の加害の中心はこの音ですが、一日平均 10 回くらい毎日欠かさず聞こえます。朝晩の各 6 時前後と夜の 10 時過ぎが多いです。

なお、この音が始まった当初数ヶ月間は、同じ音が近隣のどの家からも響いていました。

いずれにせよ、いくら否認してみたところで、音源の方向には廣橋宅しか在りません。

あくまで「やっていない」と言い張るなら、屋内にまで踏み込んでビデオ撮影するわけにもいきませんが、犬による加害は歴然としており、また、既述の数々の不審な行動も考え合わせれば、推して知るべしということです。

☆特に顕著な日 20180203

第 4 各反訳書や書証の要旨と引用(不法行為の補足)

録音記録は言動と音のいずれかの加害の主要な証拠ですし、被告の書面は言動による加害の主要な証拠です。

まず説明の前提として、事実経過 2 の私の内容証明を一方的に無視できたはずはありません。

なぜなら①理由が不法行為による事情変更であり、信義則に基いて結んだ覚書的一方当事者の信義則違反が有れば取り消しうるのは当然ですし、また、②無視すれば恩義有る地主の権

利が一方的に損なわれるのは自明(予見可能性)です。

このような居直りこそ幾重にも人格権の侵害であり、まさに非人間扱いです。

甲 12 号反訳書

①「覚書は取り消せない」と暴力的発言を三度繰り返したこと

「一方的に無視してるのはそちらでしょう?」「それは無効です」「もう、あたし話しませんから」(説明)虚偽_音による加害という信義則違反による不法行為が有る以上は取り消しうるのは自明なのに、不可能という趣旨の発言を繰り返したことは、私的自治を否定しており公序良俗違反です。

②その抗議を無視したこと (説明)故意_その証拠に、正当理由を示した事が有りません

③私を狂人扱いしたこと ★「貴方、治療してください」★「少し治療なさったほうがいい」(説明)事実無根です_絹代の言動こそ狂気に満ちています

④出資金元金の返還を拒否したこと(詐取)公序良俗違反

「その前に 200 万返してください」「あれは頂いたモノです」「あの時どうして借用証書かせなかったんですか?」(説明)信義則違反_普通は黙っていても何かしら出すものです。

⑤威力を示す二つの発言

★「自分が恥だよ? 貴方、あたしゃ恥ずかしいよ、本当に」

(説明)ドサクサ紛れに据膳喰わぬは男の恥と罵っています。他人など関係ありません。

★「みんな知ってることだから、役場がね」(説明)他人など関係ありません。

⑥一方的に話し合いを打ち切ったこと

甲 13 号反訳書

①「覚書は取り消せない」と暴力的発言を繰り返したこと

「過日の覚書を取り消したいんですけども?」「取り消せないです」「だったらヤクザの商法と一緒にじゃないですか?」「とにかく取り消せません」(説明)虚偽_音による加害という信義則違反による不法行為が有る以上は取り消せぬはずはないのは自明なのに、不可能という趣旨の発言を繰り返したことは、私的自治を否定しており公序良俗違反です。

②その抗議を無視したこと (説明)故意_その証拠に、正当理由を示した事が有りません

③一方的に話し合いを打ち切ったこと 「もうお答えできません、さようなら」

甲 14 号反訳書

①私の犬啼き被害を無視したこと

「毎日のように犬が啼いてるんだけど、どうゆうわけだい?」「あ、啼いてません」

(説明)威力_公序良俗違反_証拠が有るから抗議しているのに、この言い草です。

②その抗議を無視したこと 飼主責任放棄 信義則違反

「最初から犬を飼うなって言って有りますよね? なんで犬が居るんですか? そもそも」「関係無いです」「しかも毎日のように啼いてるのが記録されてますよ?」「そうですか?」「立退き理由になりますよ?」「関係無いです」「即、立退きを求めます」「関係有りません」(説明)故意_そもそも立退き問題の元凶がこの犬ですし、新たな被害であることから無視できるはずはありません。人格権(憲法 13 条の幸福追求権)の侵害です_またこの日、一連の催告に基く事情変更による契約解除の意思表示を行いました。

③一方的に話し合いを打ち切ったこと ★「貴方みたいな人に何を言っても無駄です」

甲 15 号反訳書

①私の犬啼き被害を無視したこと 「9 時半から 12 時過ぎまでサンが啼いてたんですけど、
どうということ?」「わかりません、留守にしちゃったから」

②その抗議を無視したこと (説明)飼主責任放棄 信義則違反

「留守の間、何で置いとくん? 持って行けばいいだろ?」「連れて行けません、そんなの」
「そもそも飼う事を許可してないよ? 俺は」「関係有りません」

③一方的に話し合いを打ち切ったこと (説明)勝手にドアを閉めました

甲 16 号反訳書

①私の犬啼き被害を無視したこと (説明)飼主責任放棄 信義則違反

「今朝、8 時から 10 時まであの、サンが啼き続けてましたが?」「あ、留守にしたからですかね?」「留守に何で居るんですか?」「連れて行けるわけないでしょ? 会議なのに」「貴方の犬でしょ?」「貴方の言う事は聞けません」

②「覚書は取り消せない」と暴力的発言を繰り返したこと 「聞く耳持ちません」

(説明)虚偽 音による加害という信義則違反による不法行為が有る以上は取り消しうるのは自明なのに、不可能という趣旨の発言を繰り返したことは、私的自治を否定しており公序良俗違反です。また、立退かない正当理由を一度も示しておりません

③その抗議を無視したこと 「いいですか? 一旦結んだものは取り消せないなどと言えば」「取り消しません、うん、取り消せない」「当然に違法ですよ?」「ああそうですか? はいそうですか?」 (説明)故意 その証拠に、立退けない正当理由を示した事が有りません

④私の所有権を否定したこと 「だって地主じゃないですよ、もう」「私や、地主ですよ?」「地主なんて関係有りません」「関係有るだろ?」「貴方があの、無駄な事言っているだけです」 (説明)人格権(憲法 29 条の所有権)の侵害です

⑤威力を示す三つの発言 (説明)他人など関係ありません。

★「あんなもの回したって、貴方が敵に回すだけ、みんなを」

★「あ、狂ってますのは貴方ですね、誰が見ても」

★「思ってますよ、貴方の言うことなんか。警察に聞いてもらいなさい」

⑥詐術を用いて一方的に話し合いを打ち切ったこと

「じゃあ、警察が来たら改めてお話ししましょう。呼んでください、こちらに来るんでしょうから」「はい、はい」 (説明)信義則違反 このように、警宜が来たら話し合いを再開することを条件に中断したのに、次項ではその警察に「組代がもう私と話したくないと言っている」とのことで止められ、結局話し合いが中止となりました。これでは騙し討ちです。

甲 36 号反訳書

「朝から何で、さんざん啼かしてるんだい?」「しょうがねえだろ? 啼くんだよ」「じゃあ殺しちめえ」「殺さないでいいんだよ、馬鹿野郎」「飼うのは認めないと言ってるだろ?」

「はいはい、向う行って、そこはうちの土地」

(説明)忠夫が居たのに啼くのを放置していました。このように組代はペットばかりか認知症の夫までも加害の口実に使っています。「コントロールできるほど賢い夫ではない」と。

室内で飼う様になってから一年くらいは全く啼かなかったことから、故意は明らかです。
なお、忠夫は廣橋宅の建築後まもなく脳出血で倒れたことがあり、その後は後遺症の為に認知症ということになっていますが、反訳書のような徹底した聞き直りは、たとえ事前に絹代に訓練されていても容易に実践できるものではなく、正気と故意の両方を示唆しています。

甲 37 号反訳書

(説明) 15 分前に怒鳴りつけたばかりなのに、それを無視して、またしても忠夫が窓を開けてサンを鳴かし続けていたのでこの月二度目の抗議をしました。前項同様の理由から正気と故意を同時に示唆しています。

甲 38 号反訳書

(説明) 忠夫がまたしても窓を開けてサンを鳴かし続けていたので嚴重に抗議しましたが、反訳書の通り一度も応諾してはおりません。認知症の人がこのように頑なに健常者に抗うことは考えにくく、前項同様の理由から正気と故意を同時に示唆しています。

★甲 23、甲 25、甲 28 の被告の一連の回答書について

詳しくは証拠説明書の通りですが、いずれも実質的に回答になっておりません。
被告は回答したという外形だけが欲しかったものと思われそうですが、これぞ正に各県警を始めとする各機関に倣う非人間扱いであり、それはさて置き方式でありゾンビ化です。

第 5 被告らが包囲網であること

1 根拠の無い村八分が包囲網であることを示唆しています(D I-甲 1~3 二度の村の集会)
狙撃と呼ぶべき異常な発砲や脅迫と呼ぶべき無意識下の住居侵入があったのは厳然とした事実である一方で、それらが私限りの危機だという保証はどこにも無いわけで、自分達も巻き込まれる恐れ(公益の侵害の恐れ)を考えれば看過できるはずがないのに、公衆の面前で堂々とこれを否認してみせることは異常なアレルギー反応であり著しく不合理な事実を否定する判断であり、私への威力と事件の隠蔽の両方の意図を同時に示唆しており、言わば包囲網としての自白と言えます。

廣橋夫婦も当然にこうした村八分への加担の意図を持っていると思われます。

2 狙撃グループ(告訴状 B)との関連が疑われること

廣橋絹代は村人の石井武と懇意であり、石井武は山師なので獣の生息情報に詳しいので狙撃グループと懇意です。

また石井武は私の自宅周辺でしばしば必然性無く轟音玉(対獣花火)を使うことによって狙撃グループの脅迫行為を故意に模倣し、それに加担してきております。

3 近隣他家の対応もことごとく異常であること

音による加害の中心は D III の今井孝尚家です。

同家に対し、音による加害の記録が既に充分に有るので、これ以上続ければ慰謝料の金額が嵩むと同時に脅迫罪としても訴える、と通告済ですが、逆にエスカレートして来ています。

4 廣橋宅は包囲網のアジトである疑いが強いこと

特に真夏や真冬など自然条件の厳しい時期にはそのような気配を感じます。

例えば、20180516 00:26(05:29 頃)二階のベランダの金属の扉が動く音など多数の録音有。

更には、ドスン音は廣橋夫婦が二人とも外出中にも多数記録されております。

また、私は無線方式のインターネットですから、廣橋宅であれば受信可能範囲なので、私のパソコン作業の内容を傍受する意味でも貴重な拠点になっていると思われます。

5 廣橋家は包囲網の陽動部隊と思われること

つまり私の告訴活動を妨害し矛先を逸らす挑発の役割を担っていると思われます。

例えば、音に苛立った私が二人に対して傷害事件でも起こせば絶好の時間稼ぎになります。

6 知りえない情報(裁判期日)を知っていたこと

2017. 11. 18 19:37 廣橋宅において、私が「2017. 12. 12 判決の予定なので当面身辺に気をつけてください」と告げたところ、「もう近所の人は皆知ってるよ」と答えました。

裁判の期日は当該裁判所においてその当日しか公示されませんし、私は口外してません。

第6 犯罪性の強調(脅迫と隠蔽です)

被告らの動機は包囲網としての威力であり、社会的な村八分です。

包囲網は信じないこと・認めないことにより犯罪を隠蔽して来ました。

包囲網は本来ありえないことを威力によって既成事実として正当化して来ました。

脅迫殺人(訴状A、AⅡ)と狙撃脅迫(告訴状B)はいずれも私の生命への脅迫であり、また本事件もこの二つを起源とする派生事件と思われますから、生命への無言の脅迫の意図は常に有るとみなしてよいと思います。 本件の害意の対象は、特に自由と名誉だと考えます。

まず廣橋絹代は私の叔母であり、同時に最も近い隣人であり村人です。

加えて、私から一方的に無償で居住権を与えられている立場であり、私はその恩人です。

そうした立場から見て、その言動の異常性・不当性があまりに露骨であり、そこに不当性を演出して包囲網の威力を示そうとする意図がはっきりと表れています。

このように正常な人が異常な言動を取る背景には、当然に何らかの特別な意図が有ります。こうした言動の違法性、つまり、訴えられた場合に勝ち目は無いことはあまりに自明のはずであり、一般的には選択の余地はありませんが、それらを敢えて選択し実行している点が、私限りの特殊事情(社会的孤立状態)を見越したうえで、例えば不当な判決による私の敗北等、何らかのありえない特殊な状況を前提にして「お前の訴えなど我々包囲網の組織力で握り潰してみせるぞ」という無言の威力の意図を如実に示しています。

なお、下記の判例に即して表現すれば、被告らの全ての言動が村八分の通告とみなせます。

判例の摘示 甲1 村八分の通告が自由と名誉への脅迫に当たるとした判例(大阪高等裁判所昭和30(う)1561 暴力行為等処罰に関する法律違反被告事件 昭和32年9月13日 破棄自判)

第7 時系列的事実経過

1 20150109 付で私と廣橋夫婦は、彼らがみなかみ町上牧3158-7 所在の廣橋宅を2027年7月10日までに明け渡して私に贈与することとし、それまでの間は使用貸借とする旨の覚書(甲7)を締結しました。

しかし覚書締結後、廣橋夫婦が信義に反して音による加害を以前よりも激化させたため、

2 20160425 付の内容証明(甲8)で、私が廣橋絹代に対し、被告らの音による加害が受忍限

度を超えたことを理由に、2015.1.9 締結の覚書(使用貸借)の破棄と、以後一年以内の建物収去と敷地の返還を求め(事情変更による契約解除の催告)、更に私が 1997 年に廣橋絹代に手渡した出資金 200 万円(甲 9)の返還を求めました。

3 20160623 被告らが音による加害を続けた為、私が玄関と裏口についての申入書(甲 10)を廣橋宅裏口前に貼り出しました。

4 20161231 被告らが音による加害を続けた為、私が所有権(排他的利用権)を行使して上牧 3158-7 の敷地を堆肥置場に変えようとしたところ通報され沼田署に止められました。

5 20170425 何の返事も無く立退期限(催告期限)が到来しました。

6 20170531(甲 11) 前橋地方裁判所沼田支部での調停(私が被告らに即時立退きと出資金 200 万円の返還を求めたもの)において廣橋絹代は、私の一方的な覚書の破棄の申出を認めるつもりはないことと、200 万円は貰ったつもりであるから返還しないことを主張し、不成立となりました。

7 20170604 22:45(甲 12) 廣橋絹代は廣橋宅での話し合いにおいて、私が覚書の取消と立退き(契約解除の意思表示)を求めたのに対し、「一度締結したものは取消せない」旨を繰り返し、「そんなはずがあるものか?それではまるでヤクザの悪徳商法と同じではないか?」と私が何度抗議し公序良俗違反を訴えても聞き入れず、また、「あなた、治療してください」と私を狂人扱いしたあげく、警察への通報を口実にして一方的に話し合いを打ち切りました。

8 20170608 19:45(甲 13) 私が自宅から廣橋宅の廣橋絹代に携帯電話し、改めて覚書の取消を申し入れるも、「大事な物だから取り消せない」旨を繰り返し、公序良俗違反を訴えても聞き入れず、「とにかく取り消せません」と一方的にこの電話を切りました。

9 20170617 10:17(甲 14) 廣橋絹代は私の畑(みなかみ町上牧 3517-1)での会話において、「地主の私が飼うのを認めないと通告した犬がなぜまだ居るのか? しかも留守中ずっと啼いているのか?」と訊ねるも答えず、更に「ここは私の畑だ! 出て行け!」と私の所有権を無視する暴言を吐いたうえ、警察への通報を口実にして一方的に話し合いを打ち切りました。

10 20171003 12:29(甲 15) 廣橋絹代は廣橋宅での会話において、この日の午前中 2 時間半にわたり絹代の犬が留守宅内で啼き続けていた事実を伝え、なぜ犬がまだ居るのか? また、なぜ一緒に連れて行かないのか? と問うも無視し、一方的に話し合いを中断しました。

11 20180424 19:31(甲 16) 廣橋絹代は廣橋宅での会話において、覚書は取り消せないという論理の公序良俗違反を訴え、また、この日の朝 8 時から 10 時まで絹代の飼犬サンが啼き続けていた事実を伝え抗議するも、「聞く耳持たない」「もう地主じゃない」「関係ない」などの暴言を重ねたうえ、詐術を用いて一方的にこの話し合いを中断しました。

12 20180424 20:15(甲 17) 私の自宅で沼田署の警官 3 人は、覚書を取り消せないという論理の不当性について私的自治の原則を踏みにじる公序良俗違反であることを訴え、日頃回覧している警察ニュースと同レベルの不当であると主張するも、その警察ニュース自体の存在を知らないと答え、判断を回避しました。

13 20180426 20:02(甲 18) 廣橋宅内の絹代は宅外の私との会話において、11 の話し合いの再開と携帯を受信拒否にしている不当性を訴えたところ、「受信拒否されているので受けられない」が書面には答えるつもりだと言いました。

- 1 4 20180426 私が同日付質問状(甲 21)を廣橋宅郵便受けに投函しました。
- 1 5 20180427 18:37(甲 22) 廣橋宅内の絹代は宅外の私との会話において、覚書を取り消せないという論理は私的自治の原則を否定しており公序良俗違反として脅迫罪に当ると警告したのに無視したばかりか、ガラス窓越しに、ここ、ここと己の頭を指差し、仕草で私を侮辱して挑発しました。
- 1 6 20180427 廣橋絹代は同日付回答書(甲 23)を私宅郵便受けに投函しました。
- 1 7 20180428 私が同日付質問状(甲 24)を廣橋宅郵便受けに投函しました。
- 1 8 20180428 廣橋絹代は同日付回答書(甲 25)を私宅郵便受けに投函しました。
- 1 9 20180429 私が同日付質問状(甲 26)を廣橋宅郵便受けに投函しました。
- 2 0 20180430 私が同日付申入状(甲 27)を廣橋宅郵便受けに投函しました。
- 2 1 20180501 廣橋絹代は 0431 日付回答書(甲 28)を私宅郵便受けに投函しました。
- 2 2 20180503 私が同日付質問状(甲 29)を廣橋宅郵便受けに投函しました。
- 2 3 20180505 11:07(甲 30) 被告らの留守中にサンが断続的に啼き続け、絹代の携帯も着信拒否で不通だったので通報しました。 沼田署のツカゴシ、トキタに廣橋絹代が内容証明を一方的に無視したことの不当性を訴えました。 また、飼主の絹代に携帯の着信拒否を解除させるよう要請しました。
- 2 4 20180505 14:26(甲 31) 廣橋宅内の絹代は宅外の私との会話において、20180503 質問状への回答を求めたところ、既に回答した通りと答えたきり家の奥へ逃げ去り、またしても一方的に話し合いを打ち切りました。
- 2 5 20180505 15:48(甲 32) 私が廣橋宅の外壁をバットの先端のゴムで小突いて話し合いを呼び賭けたが、それを通報され事情聴取されました。
- 2 6 20180505 16:34(甲 33) 私が暴行罪と迷惑防止条例違反?の疑いで任意同行を求められ、沼田署の取調室で事情聴取されました。
- 2 7 20180505 17:44(甲 34) 前項の事情聴取の続きです。
- 2 8 20180702 08:38(甲 35) サンが啼き続けていたので庭から廣橋宅を覗くと、忠夫が啼くのを放置していたので嚴重に抗議しました。 絹代の携帯は着信拒否で不通でした。
- 2 9 20180702 13:43(甲 36) 忠夫が窓を開けてサン啼かせたので嚴重に抗議しました。
- 3 0 20180702 14:00(甲 37) 忠夫が窓を開けてサンを啼かせたので嚴重に抗議しました。
- 3 1 20180723 08:07(甲 38) 忠夫が窓を開けてサンを啼かせたので嚴重に抗議しました。
- 3 2 20180723 私が犬啼きの同日付申入状(甲 39)を廣橋宅郵便受けに投函しました。
- 3 3 20180724 廣橋絹代は犬啼きの同日付詫状(甲 40)を私宅郵便受けに投函しました。

第 8 証拠方法 証拠説明書 D IV に記載の全て

第 9 附属書類 本書と証拠説明書 D IV および記載の全証拠の副本一式

以上

番号	標目	媒体等	立 証 趣 旨
甲1号書証	村八分の予告が自由と名誉への脅迫に当る(判例摘示)	コピー 20190210 原告が作成	直接的に立証すべき事実は有りません。 <u>大阪高等裁判所 昭和30(う)1561 暴力行為等処罰に関する法律違反被告事件 昭和32年9月13日 破棄自判抜粋</u> この判例では村八分の通告が自由と名誉への脅迫に当るとしております。 本件の全不法行為が無言の村八分の通告とみなせると思います。
甲2号書証	異音記録表(廣橋)	コピー 20190328 原告が作成	立証すべきは、 <u>不法行為のうちⅡ音による加害の事実</u> です。 <u>訴状で引用した記録については左端の引用欄に●を付けました。</u> また、 <u>強調したい記録の立証趣旨欄には最大で三つの★を付けています。</u> なお、有るはずなのに見当たらない記録には○。 <u>特に20180724犬啼きに関する絹代の詫状以降、逆に顕著に増加している点に注目願います。</u> <u>これこそ正に非人間扱いです。</u>
甲3号証	異音記録表データ	USBメモリー 20190328 原告が作成	立証すべきは、 <u>不法行為のうちⅡ音による加害の事実</u> です。 前項の各記録データを集めたフォルダーです。 <u>各データのファイル名の先頭には必ず録音日時が入っており、6桁数字が西暦下二桁の年月日(YYMMDD)、4桁数字が24時間表示の時分(HHMM)です。</u> <u>訴状で引用した記録については時分の直後に●を付けてあります。</u> また、身の代表的異音(廣橋との関連は不明)を <u>代表フォルダー</u> に集めています。
甲4号書証	登記簿謄本(土地) 20190308	コピー 法務局作成	立証すべきは、廣橋宅の敷地(みなかみ町上牧3158-7)の所有関係です。 相続未登記のため、未だ亡父の名前になっています。
甲5号書証	登記簿謄本(家屋) 20190308	コピー 法務局作成	立証すべきは、廣橋宅(みなかみ町上牧3158-7)の建物の所有関係です。 絹代と忠夫が持分二分の二つになっています。
甲6号書証	戸籍謄本8枚 20151209	コピー 法務局作成	立証すべきは、①私の父・今井達也が20141212(平成26年)に亡くなった事、②達也と絹代の兄妹関係、③達也と私の親子関係です。
甲7号書証	20150109覚書	コピー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 1 の事実です。 廣橋絹代と廣橋忠夫は2027年7月10日までにみなかみ町上牧3158-7所在の廣橋宅を明け渡して私に引き渡すこととし、それまでは無償の使用貸借契約とする旨が書いてあります。
甲8号書証	20160425内容証明	コピー 郵便局作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 の事実です。 民法412条3項の催告に当たります。
甲9号書証	20160601 廣橋絹代	コピー	立証すべきは、不法行為 1 の事実です。 被告の弁護人である井坂法律事務所に対して、廣橋絹代から1997年に出資を求めら

	の詐取の意図(4枚)	原告が作成	れた経緯を説明し、これを詐取したことが立退き問題の焦点になることを予告しました。
甲10号書証	20160623申入書	コピー 原告が作成	立証すべきは、不法行為のうちⅡ音による加害に抗議した事実です。 <u>①玄関扉の施錠は就寝前と翌朝に限ること</u> <u>②裏口は常時開放のこと</u>
甲11号書証	20170531 10:00 調停期日呼出状	コピー 20170512 同所が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の6の事実です。 沼田簡易裁判所(沼田市材木町甲150)主催 申立の趣旨 ①上牧3158-7上の建物の収去と土地明け渡し ②借金200万の元金即時返還 <u>被告らが内容証明を一方的に無視したことが明確に書いて有ります。</u>
甲12号書証 (反訳書)	20170604 22:45 廣橋宅での私と廣橋 夫婦との会話録音	コピー USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の7の事実です。 要旨は以下の通りです。 <u>①「覚書は取り消せない」と暴力的発言を三度繰り返したこと</u> 「それは無効です」「もう、あたし話しませんから」 (説明)虚偽_音による加害という信義則違反による不法行為が有る以上は取り消しうるのは自明なのに、不可能という趣旨の 発言を繰り返したことは、私的自治を否定しており公序良俗違反です。 <u>②その抗議を無視したこと</u> (説明)故意_その証拠に、正当理由を示した事が有りません <u>③私を狂人扱いしたこと</u> ★「貴方、治療してください」 (説明)事実無根です。_絹代の言動こそ狂気に満ちています <u>④出資金元金の返還を拒否したこと(詐取)</u> 「あれは頂いたモノです」「あの時どうして借用証書かせなかったんですか?」 (説明)公序良俗違反・信義則違反_普通は黙っていても何かしら出すものです。 <u>⑤威力を示す二つの発言</u> (説明)他人など関係ありません。 ★「自分が恥だよ? 貴方、あたしゃ恥ずかしいよ、本当に」 ★「みんな知ってることだから、役場がね」 <u>⑥警察への通報を口実に使って一方的に話し合いを打ち切ったこと</u>
甲13号書証 (反訳書)	20170608 19:45 私の自宅から廣橋宅 の絹代への通話録音	コピー USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の8の事実です。 <u>①「覚書は取り消せない」と暴力発言を繰り返したこと</u> <u>公序良俗違反</u> <u>②その抗議を無視したこと</u> 「ヤクザの商法と一緒にじゃないですか?」「とにかく取り消せません」 <u>③一方的に話し合いを打ち切ったこと</u> 「もうお答えできません、さようなら」
甲14号書証 (反訳書)	20170617 10:17 私の畑(上牧3517-1)	コピー USBメモリー	立証すべきは、時系列的事実経過の9の事実です。 <u>①私の犬啼き被害を無視したこと</u> 「毎日のように犬が啼いてるんだけど、どうゆうわけだい?」「あ、啼いてません」

	での絹代の会話録音	原告が作成	<u>②その抗議を無視したこと 飼主責任放棄 信義則違反</u> 「最初から犬を飼うなって言って有りますよね？ なんで犬が居るんですか？」 「関係無いです」 「しかも毎日のように啼いてるのが記録されてますよ？」 「そうですか？」 「即、立退きを求めます」 「関係有りません」 <u>③一方的に話し合いを打ち切ったこと</u> ★「貴方みたいな人に何を言っても無駄です」
甲15号書証 (反訳書)	20171003 12:29 廣橋宅での私と絹代の会話録音	コピー USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 1 0 の事実です。 <u>①私の犬啼き被害を無視したこと</u> 「9時半から12時過ぎまでサンが啼いてたんですけど？」 「留守にしちゃったから」 <u>②その抗議を無視したこと 飼主責任放棄 信義則違反</u> 「留守の間、何で置いとくん？」 「連れて行けません」 「そもそも飼う事を許可してないよ？」 「関係有りません」 <u>③一方的に話し合いを打ち切ったこと</u> (説明)勝手にドアを閉めました
甲16号書証 (反訳書)	20180424 19:31 廣橋宅での私と絹代の会話録音	コピー USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 1 1 の事実です。 <u>①私の犬啼き被害を無視したこと</u> (説明)飼主責任放棄 信義則違反 「今朝、8時から10時まであの、 <u>サンが啼き続けてましたが?</u> 」 「あ、 <u>留守にしたからですかね?</u> 」 「 <u>留守に何で居るんですか?</u> 」 「連れて行けるわけないでしょ？ 会議なのに」 「 <u>貴方の犬でしょ?</u> 」 「 <u>貴方の言う事は聞けません</u> 」 <u>②「覚書は取り消せない」と暴力的発言を繰り返したこと</u> 「聞く耳持ちません」 (説明)虚偽であり公序良俗違反です。__また、 <u>立退かない正当理由を一度も示しておりません</u> 。 <u>③その抗議を無視したこと</u> (説明)故意の威力__その証拠に、 <u>立退けない正当理由を示した事が有りません</u> 。 「いいですか？ 一旦結んだものは取り消せないなどと言えば」 「取り消せません、うん、取り消せない」 「当然に違法ですよ？」 「ああそうですか？ はいそうですか？」 <u>④私の所有権を否定したこと</u> 「 <u>だって地主じゃないですよ、もう</u> 」 「私や、地主ですよ？」 「地主なんて関係有りません」 「関係有るだろ？」 「貴方があの、 <u>無駄な事言っているだけです</u> 」 (説明)人格権(憲法29条の所有権)の侵害です。 <u>⑤威力を示す三つの発言</u> (説明)他人など関係ありません。 <u>★「あんなもの回したって、貴方が敵に回すだけ、みんなを」</u> ★「あ、狂ってますのは貴方ですね、誰が見ても」

			<p>★「<u>思っ</u>てませんよ、貴方の言うことなんか。警察に聞いてごらんなさい」</p> <p>⑥<u>詐術を用いて一方的に話し合いを打ち切ったこと</u></p> <p><u>「じゃあ、警察が来たら改めてお話ししましょう。呼んでください、こちらに来るんでしょうから」「はい、はい」</u> (説明)</p> <p><u>信義則違反</u>__このように、警官が来たら話し合いを再開することを条件に中断したのに、次項ではその警察に「<u>絹代がもう私と話したくないと言っている</u>」とのことで止められ、結局話し合いが中止となりました。これでは騙し討ちです。</p>
甲17号証	20180424 20:15 私の自宅で沼田署の 警官らとの会話録音	USBメモリー 原告が作成	<p>立証すべきは、時系列的事実経過の 1 2 の事実です。 <u>絹代がもう私と話したくないと言ったとのこと(詐欺)で、警察として</u></p> <p><u>は危険防止の為に、もう直接会ってほしくないとのこと。</u> 覚書を取り消せないという論理の不当性について私的自治の原則</p> <p><u>を踏みにじる公序良俗違反であることを訴え、よく町内回覧で廻って来る緑の警察ニュースと同レベルの話として同意を求め</u></p> <p><u>ましたが、その警察ニュース自体の存在を知らないし警察は公序良俗について判断する機関ではないと答えました。</u> また、</p> <p><u>音による日常的加害と合わせて被告らの脅迫行為であると主張しましたが頑なに判断を回避しました。</u> <u>告訴状を手交したい</u></p> <p><u>ので受理権限の有る人はここに居るか?</u> と訊ねたが、結局答えませんでした。 名前と所属を尋ねても答えませんでした。</p>
甲18号証	20180426 20:02 庭の私と廣橋宅内の 絹代との会話録音	USBメモリー 原告が作成	<p>立証すべきは、時系列的事実経過の 1 3 の事実です。</p> <p><u>1 1 で反故にされた話し合いの再開と、携帯を受信拒否にしている不当性を訴えました。</u>「受信拒否されているので受けられ</p> <p><u>ない」 ???が、書面なら答えるとのこと。</u></p>
甲19号証	20180426 20:06 庭の私と廣橋宅内の 絹代との会話録音	USBメモリー 原告が作成	<p>立証すべきは、時系列的事実経過の 1 3 の関連です。 覚書を取り消せないという論理の不当性について、<u>取り消せないと言</u></p> <p><u>うことは、覚書の成立の効力をも自己否定しているがいかが?</u> と訊ねたが、家の奥へ逃げ去り、<u>またしても一方的に話し合</u></p> <p><u>いを打ち切りました。</u> 時系列的に一貫してこの点には答えようとしておりません。</p>
甲20号証	20180426 20:10 庭の私と廣橋宅内の 絹代との会話録音	USBメモリー 原告が作成	<p>立証すべきは、時系列的事実経過の 1 3 の関連です。 <u>庭から話し合いの再開を呼び掛けた。</u> 覚書を取り消せないという論</p> <p><u>理矛盾を指摘したが、家の奥へ逃げ込み、またしても一方的に話し合いを打ち切りました。</u></p>
甲21号書証	20180426付質問状	コピー 原告が作成	<p>立証すべきは、時系列的事実経過の 1 4 の事実です。 ①「<u>覚書は取り消せない</u>」という論理は締結の効力の自己否定ですね?</p> <p><u>②2015年冬の雪降ろしの加害を認めますか?</u> ③裁判期日を事前に知っていた件を認めますか?</p>

甲22号証	20180427 18:37 庭の私と廣橋宅内の 絹代との会話録音	USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 1 5 の事実です。 <u>覚書を取り消せないという論理の不当性について、一般社会の大前提である私的自治の原則を否定しており脅迫罪に当たりますよ？ 弁護士のせいにはできませんよ？ と通告した。</u> <u>それを無視したばかりか、ガラス窓越しに、ここ、ここと己の頭を指差し、仕草で私を侮辱して挑発した。</u>
甲23号書証	20180427夜付回答書	コピー 被告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 1 6 の事実です。 ①相手を取り消さない限り取消はできません・・・ <u>虚偽です。不法行為が在る限りは事情変更により取り消せます。</u> それにまたしても取り消さない正当理由を答えておりません。 ②何の事かわかりません ③何の事かわかりません・・・このように都合の悪い事は全て否認します。
甲24号書証	20180428付質問状 (2枚)	コピー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 1 7 の事実です。 I <u>200万について、①貰ったと思える余地も②元金を留保する正当性も、無いですよ？</u> II ③ <u>内容証明を一方的に無視したのは致命的な過失ですよ？</u> ④音による加害の記録は充分有るが、それを否定できるのですか？ ⑤ <u>立退けない正当理由は何ですか？</u> ⑥勝訴の見込みが無いのに抗うのは威力です。
甲25号書証	20180428付回答書 (2枚)	コピー 被告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 1 8 の事実です。 <u>以下のように実質的に回答になっていません。</u> ① <u>貴方が住宅取得したことは知らない</u> ② <u>200万は貰ったつもり</u> ③ <u>覚書の通りです</u> ④ <u>故意ではないし、コントロールできるほど賢い犬ではありません</u> ⑤ <u>お話した通り</u> (相手を取り消さない限り取消はできません)
甲26号書証	20180429付質問状 (2枚)	コピー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 1 9 の事実です。 I 200万について、①貰ったと思える余地が無いこと b 1500万と同質の資金であること c 無償の使用貸借の恩恵のほうが大きいはず ②元金を留保する正当性が無いこと II ③内容証明を一方的に無視したのは致命的な過失ですよ？ ④音による加害の記録を否定するつもりですか？ ⑤ <u>立退けない正当理由は何ですか？</u> ⑥立退きについて勝訴の見込みが無いのになお抗うのは異常であり威力を示唆します。
甲27号書証	20180430付申入書	コピー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 0 の事実です。 「ペットの <u>啼き声を使った音の暴力は止めてください</u> 」 元々の発端の犬なのに、なぜ平然と無視してられるのですか？
甲28号書証	20180431夜付回答書 (2枚)	コピー 被告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 1 の事実です。 前々項に比し、 <u>以下のように実質的に回答になっていません。</u> I <u>資金提供の話も喰い下がったことも貴方の思い違いです</u> ①a 無視 b 否認 c 無視 ②無視 II (相手を取り消さない限り取消はできません) ③無視 ④否認 ⑤無視 ⑥無視 今後は弁護士を通して下さい
甲29号書証	20180503質問状	コピー	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 2 の事実です。 <u>今だに未回答です。</u> I 貰ったと思える余地が無いこと ①元金を

	(2枚)	原告が作成	留保する正当性も無いですよね？ ②付き合いとして一方的過ぎますよね？ 無償の使用貸借の恩恵のほうが大きいですよね？ Ⅱ <u>内容証明を一方的に無視したのは致命的な過失ですよね？</u> ③反論が有ったのならなぜ期限までにしなかったのですか？ ④ <u>立退けない正当理由(期限の利益?)は何ですか？</u> ⑤「警察が貴方なんか相手にするはずがない」との発言の根拠は何ですか？ ⑥ペットの <u>啼き声の再発防止策は？</u> ⑦携帯がつかないのはなぜですか？
甲30号証	20180505 11:07 犬啼き通報による警官二人との会話録音	USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 3 の事実です。 <u>サンが留守中に断続的に啼き続け、絹代の携帯も着信拒否だったので通報した途端に絹代が戻ってきた。</u> タイミングが良過ぎる。常時監視の証明である。 来たのは <u>ツカゴシ、トキタ</u> の二人の警官だった。 <u>覚書は合意なので内容証明による一方的通告より強いと言い、不法行為を理由とする内容証明を一方的に無視したことの過失には触れようとしなかった。</u> 再発に備え飼主の絹代の携帯の着信拒否を解除させてほしいと要請した。
甲31号証	20180505 14:26 庭の私と廣橋宅内の絹代との会話録音	USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 4 の事実です。 20180503質問状への回答を催促したが、既に回答した通りと答えたきり家の奥へ逃げ去り、またしても一方的に話し合いを打ち切りました。 回答になっていないとはっきり書いて有ります。
甲32号証	20180505 15:48 庭での廣橋絹代と沼田署の警官らとの会話録音	USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 5 の事実です。 <u>この日は朝から断続的にサンを啼かせ続けており、抗議しても止めずその後も啼かせ続け、再度の抗議を避けて屋内を逃げ回ったので、廣橋宅の外壁をバットの先端のゴムで小突いて絹代に話し合いを呼び掛けたが、それを通報され事情聴取された。</u> 基本的には加害を止めない被告ら(挑発行為と思われます)と、それを取り締まらない警察が悪いと思います。
甲33号証	20180505 16:34 沼田署での警官の事情聴取の会話録音	USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 6 の事実です。 前項の財産(犬)への害悪の告知とバットで外壁を小突いた件について暴行罪と迷惑防止条例違反の疑い?で任意同行を求められ沼田署の取調室で事情聴取された。
甲34号証	20180505 17:44 沼田署での警官の事情聴取の会話録音	USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 7 の事実です。 前項の続きです。
甲35号証	20180702 08:38	USBメモリー	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 8 の事実です。 <u>サンが啼き続けていたので庭から覗いたところ、忠夫が居るのに啼く</u>

	庭の私と廣橋宅内の 忠夫との会話録音	原告が作成	<u>のを放置していました。</u> このように絹代はペットばかりか認知症の夫までも加害の口実に使っています。 「コントロールできるほど賢い夫ではない」と。 絹代の携帯はもちろん着信拒否でした。
甲36号書証 (反訳書)	20180702 13:43 庭の私と廣橋宅内の 忠夫との会話録音	コピー USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 2 9 の事実です。 <u>忠夫が窓を開けたままサンを啼かせていたので</u> 嚴重に抗議しました。 「朝から何で、さんざん啼かしてるんだい?」「 <u>しょうがねえだろ? 啼くんだよ</u> 」「じゃあ殺しちめえ」「殺さないでいいんだよ、馬鹿野郎」「 <u>飼うのは認めないと言ってるだろ?</u> 」「はいはい、向う行って、 <u>そこはうちの土地</u> 」 <u>(説明) 忠夫は廣橋宅の建築後まもなく脳出血で倒れたことがあります、その後は後遺症の為に認知症ということになっていますが、反訳書のような徹底した開き直りは、たとえ事前に絹代に訓練されていても容易に実践できるものではなく、正気と故意の両方を示唆しています。</u>
甲37号書証 (反訳書)	20180702 14:00 庭の私と廣橋宅内の 忠夫との会話録音	コピー USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 3 0 の事実です。 <u>さっき怒鳴りつけたばかりなのに、それを無視して、またしても忠夫が窓を開けたままサンを啼かせ続けていたので本日二度目の抗議をしました。</u> 前項同様の理由から <u>正気と故意を同時に示唆しています。</u>
甲38号書証 (反訳書)	20180723 08:07庭の 私と廣橋宅内の忠夫 との会話録音	コピー USBメモリー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 3 1 の事実です。 前項同様に <u>忠夫が窓を開けたままサンを鳴かし続けていたので</u> 抗議しました。 <u>いくら窓を閉めろと言っても全く聞き入れませんでした。</u> これは認知症としては極めて不審です。
甲39号書証	20180723申入書	コピー 原告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 3 2 の事実です。 「(通告)脅迫行為を繰り返すことは愚かなことです」 抗議されてもなお繰り返すことは故意性を飛躍的に高めます。 20180702の二度の件と20180723の件
甲40号書証	20180724詫状	コピー 被告が作成	立証すべきは、時系列的事実経過の 3 3 の事実です。 「本当に申し訳ありませんでした。 <u>できる限り</u> 犬の啼き声には注意したいと思います」 <u>しかしその後、逆にエスカレートさせている事実は正に非人間扱いです。</u>

20190328 原告 今井豊

20170604 22:45 廣橋宅(みなかみ町上牧 3158-7)での会話の録音 反訳書

(廣橋絹代) どちら様でしょう? どちら様でしょう?

(私) 隣の者ですけど、

(廣橋絹代) 何でしょう? こんな遅い時間に。

(私) いや、今の音が何なのか? 聞きたくて、

(廣橋絹代) え、何の音がしたんですか?

(私) いや、機械に聞いてください、

(廣橋絹代) え?

(私) 機械に聞いてください、

(廣橋絹代) 機械って何ですか?

(私) 録音されてます。

(廣橋絹代) 機械って何ですか? あれ? 開かねえや、何にもしてませんけど?

(私) いやいや、

(廣橋絹代) え、機械の音がしたんですか?

(私) 何にもしなくても、音のする方向にはこの家しか無いんですよ?

(廣橋絹代) 何もしてないのに何でそうゆうふうにしてるんでしょう? あの、何かあったら弁護士さんをお願いします。

(私) いや、それは貴方の弁護士だから貴方がお願いして下さい。

(廣橋絹代) いいえ、貴方がそうゆうふうになってるんです、

(私) 私が話してるのに?

(廣橋絹代) すいません、

(私) じゃないんですよ?

(廣橋絹代) ちょっと、やめてください、

(私) いや、ちょっと先日のあの、なに、一方的に話し合いを打ち切るわけ?

(廣橋絹代) 打ち切るんじゃないですよ、

(私) 覚書を、覚書を取り消したいんですよ、私。

(廣橋絹代) ちょっと、ちょっともう、ん? 取り消せないそうです。

(私) 何で?

(廣橋絹代) あれは法的に、調べたらいいですよ?

(私) 何を調べるの?

(廣橋絹代) だから、けい

(私) 貴方の頭で何を調べるの?

(廣橋絹代) ああ、もう、

(私) だからさあ、一方的に話を

(廣橋絹代) 警察を呼びますよ?

(私) どうぞ、どうぞ、一方的に話し合いを打ち切るんですね?

(廣橋絹代) 打ち切るなんて言ってないですよ、

(私) 地主が持ちかけてる話し合いを打ち切るんですね？ 一方的に打ち切るんですね？

(廣橋絹代) 打ち切るなんて言ってません。

(私) はい、じゃあ、応じてください。

(廣橋絹代) 何を応じるんですか？

(私) 何を？って、覚書を取り消したいんですよ、私は。

(廣橋絹代) 取り消せません、

(私) 何で？

(廣橋絹代) 弁護士に聞いてください。

(私) だから、貴方の弁護士だから貴方が聞いてください、何勘違いを言ってるんですか？

(廣橋絹代) 聞いてます、聞いてますから、

(私) 貴方の弁護士、お前の飼い主、お前が飼い主なんだからお前が言え、それがわかんないのか？ 俺が出で行けって言ってるのに、何で出て行かないんだよ？

(廣橋絹代) どこへですか？

(私) どこへ？ じゃないよ、

(廣橋絹代) これは私の家ですから、

(私) 家は私だよ、土地は俺なんだよ。お前はここに居座る権利が無いんだよ。

(廣橋絹代) 有ります、

(私) 何の権利が有るんだ？ 言ってみろ。

(廣橋絹代) 話ができません。

(私) 何の権利があるんだよ？

(廣橋絹代) 警察に電話し、電話します。

(私) どうぞ、どうぞ、どうぞ、ご勝手に。

(廣橋絹代) 道理の通らないことを言わないでください。こんな遅い時間に迷惑です。

(私) ふん、迷惑ったって、何の権利が有ってここに住んでるの？ 言ってください、法的に何の権利が有るの？

(廣橋絹代) 法的にむ、そういう権利が有りますので調べてください。

(私) だから何の権利があるの？

(廣橋絹代) 弁護士とやってください、

(私) だから言ってみろ？ 何の権利も無いんだよ。だから何で一方的に私の

(廣橋絹代) 弁護士に聞いてください、

(私) 内容証明を無視するの？ 一方的に無視してるのはそちらでしょう？ 違いますか？

(廣橋絹代) それは無効です、

(私) 一方的に無視してるのはそちらでしょ？ 内容証明だよ？ 法的な手続を無視してるのはそちらでしょ？

(廣橋絹代) いいえ、ちょっと電話しますからね、

(私) どうぞ、ご勝手に。 部外者と電話するの、止めてくれないかい？ 話し合いの途中なんで。話し合いなんだよね？ 一方的だって言われたから俺は話し合いに来てんだよ？

(廣橋絹代) 一方的、だって、きのうの、この前の段階でそれは、あれなかったんだっつうから、あの時になんでじゃあ、色々もとおっしゃらないんですか？

(私) いや、俺は調停なんかハナから当てにしていなかったから。

(廣橋絹代) じゃ、そんなことしなきゃいいじゃないですか？ 覚書が優勢なんですから。

(私) 何の為にしていると思いますか？

(廣橋絹代) もう、あたし話しませんから。

(私) うん、いや、それはね、ボロが出るから話さないつもりなんですよ？

(廣橋絹代) ボロなんか出ませんよ、

(私) ボロしか出ません、

(廣橋絹代) 貴方がおかしいんです、貴方、治療してください、あたし、お願いします。本当に治療してください、貴方おかしいですよ？

(私) その前に200万返してください、

(廣橋絹代) あれは頂いたモノです。

(私) 貴方おかしいです、頂いたモノって、やった本人、やった、出した本人がやってないって言うてるのに？

(廣橋絹代) 借用証も無いからって、あの時どうして借用証書かせなかったんですか？

(私) 間違い。当り前の親戚は、じゃ、少なくとも元金は今すぐ返しますねって言うのが当り前の親戚だよ？

(廣橋絹代) 借りてません。

(私) や、借りてなくても、少なくとも元金には何も疑いは無いんだから、す、即刻返すのが義理だよ？

(廣橋絹代) ああもう、勝手にそこでしゃべってください。

(私) 当り前に、元金だけは即刻返すのが当り前の人間だ。詐欺師。

(廣橋絹代) 何とでも言ってください、だから、あのう、あれじゃない、

(私) 薫の子供に詐欺師が出たんだな？、それでいいんだな？ それで確定させるぞ？

(廣橋絹代) あのう、ちゃんとはいい、弁護士を立ててください、

(私) 弁護士がどうのこうのじゃない、それでいいんだな？ 本当にいいんだね？

(廣橋絹代) ああ、どうぞどうぞ。別にあたしは詐欺なんかしてませんからどうぞ。

(私) いや、詐欺してるじゃない？

(廣橋絹代) してません、

(私) だって、だって、渡した本人がやってないつってのに、どうして返さない道義があるん？

(廣橋絹代) 勝手に、

(私) 馬鹿なのか？ お前。

(廣橋絹代) 急に言わないでください、

(私) 馬鹿なのか？ お前、急じゃないだろ？ 20年も貸してんだよ？ 早く返せ。

(廣橋絹代) 貴方ねえ、ここだってねえ、そいで、凄いですよこれ？ 慰謝料。

(私) 何が慰謝料？

(廣橋絹代) ずいぶん嫌がらせして、こんなことして?

(私) どっちが慰謝料? どっちが慰謝料?

(廣橋絹代) ああもう、進めてますからね?

(私) 2千万ですから、わかってますか?

(廣橋絹代) 慰謝料凄いです。

(私) 詐欺の慰謝料が一千万、

(廣橋絹代) はいはい、はいどうぞ、請求してください、

(私) それから音の嫌がらせの脅迫の詐欺が、脅迫の慰謝料が一千万、合計2千万です。

(廣橋絹代) 勝手に貴方が言ってるだけです、

(私) それから200万の元金と利息が300万、合計2500万なりますから。2500万
なります、2500万なりますから。

(廣橋絹代) だって貴方、ああ、そうですか? どうぞどうぞ、

(私) はい、覚悟しといてください。そのうえ即刻立退きです。立退いたうえでそ、250
0万が来ますから。

(廣橋絹代) 立退くわけありません。

(私) 立退きます、立退きます、それは立退きます。

(廣橋絹代) 立退きませんから、貴方がいくら言っただって立退く気は有りません。

(私) 覚書は取り消していただきます、

(廣橋絹代) 覚書は取り消せないんですよ、

(私) 何ですか?

(廣橋絹代) だから法で聞いてください、だから法で聞いてください。

(私) だから、元々何の法的根拠も無いのに、一方的に私がね、あの、あのう、排他的使用
権に例外を認めてる立場なんですよ?

(廣橋絹代) だからどうしたんですか?

(私) それを取り消してるんです。一方的に私が権利を認めてるから、ここに住んでいられ
たんです。それを取り消してるんです。何の権利も無いんですよ? 居座る権利が何も無い
んです?

(廣橋絹代) 声が大きい、ああ、もう来ないで来ないで、

(私) 居座る権利が無いんです?

(廣橋忠夫) 来ないで、

(私) 無いんですよ?

(廣橋忠夫) 来ないで、

(私) 居座る権利が無いんです、無いんです、無いんです、居座る権利何も無いんです。

(廣橋忠夫) はい、はい、わかりました、

(廣橋絹代) 小ちゃい声でどうぞ、近所がびっくりするよ。

(私) 無いんですよ? 無いんです、無いんです。びっくりするんだったら寄って下さい、
呼んで下さい、いくらでも。

(廣橋絹代) そんなこと言ったら、貴方、ねえ?

(私) いくらでも呼んで下さい、手前の恥晒したいんだったら、いくらでも呼んで下さい。

(廣橋絹代) 自分が恥だよ？ 貴方、あたしゃ恥ずかしいよ、本当に。

(私) お前、自分の顔見てみろ、そのミイラみたいな顔して。

(廣橋絹代) 顔は普通、貴方も一緒です、

(私) お前の性が出てるよ、

(廣橋絹代) ああ、貴方もそうです、

(私) 素晴らしいよ、

(廣橋絹代) ああ、素晴らしいよ、貴方も。少し治療なさったほうがいい。

(私) そ、それ以上醜い顔はあんまりないよ、

(廣橋絹代) ああ、はいはい、貴方と一緒にございまして、はい、ありがとうございます、はい。

(私) いやいや、性が出てるよ、

(廣橋絹代) はい、貴方もそうちょっと、同じでございますね、

(私) 素晴らしい性が出てるよ、

(廣橋絹代) うん、素晴らしい、貴方も素晴らしい、そんな酔っ払ってね、うちへ来て、来ないでください。

(私) いやいや、酔っ払うかどうかは知らないけど、

(廣橋絹代) 酔ってますよ、はい、

(私) あ、そう、お前にそんなことがわかるん？ へええ、

(廣橋絹代) わかります、はい、臭いです、

(私) お前ごときに？ へええ、

(廣橋絹代) はい、ええ、貴方にごときって言われる、ねえ？

(私) 偉くなったもんだねえ？

(廣橋絹代) 貴方が偉くなったもんだねえ？ 後からお生まれんなってね？ 勝手にね、親を追い出してねえ？ よくそんな、いじめた、いじめてね？ 知ってますよ、私は。

(私) どこがいじめたんだよ？

(廣橋絹代) いじめたじゃないですか？

(私) 何をいじめたんだよ？

(廣橋絹代) 何言ってるの？ 貴方、せ、水、バケツに5回も掛けて？

(私) そらあ逆だろう？

(廣橋絹代) 誰が？ 兄貴が掛けたって？ 貴方に。

(私) ああ、それ以上しゃべんないほうがいいよ？ その件は。本末転倒んなるから。

(廣橋絹代) 何？

(私) 録音してるよ？ 全部。

(廣橋絹代) どうぞどうぞ、だって本当の事だもの。兄貴に二回も傷つけたよね？

(私) 何を？

(廣橋絹代) だってそれはもう、施設でも知ってるから。

(私) 何を、何を傷つけたん？

(廣橋忠夫) ああ、いいから、

(廣橋絹代) いいよね? みんな知ってることだから、役場がね、はいはい。

(私) 何を言ってるん? わけがわからない、私、全然わかりません。

(廣橋絹代) 酔ってらっしゃるからわからないのよ? うん、

(廣橋忠夫) 酔ってるからね?

以上

20190328 原告 今井豊

20170608 19:45 私の自宅(みなかみ町上牧 3158-1)から廣橋宅(みなかみ町上牧 3158-7)の
廣橋絹代の携帯への通話の録音 反訳書

(私) あ、今井 豊です、

(廣橋絹代) あ、はい、はい？

(私) ええと、この間お返事いただけなかった事をもう一回お訊きしたいんですけども、

(廣橋絹代) はい？

(私) ええ、過日の覚書を取り消したいんですけれども？

(廣橋絹代) あの、取り消せないです、私が取り消さない限り、

(私) どうしてですか？ 法的根拠をおっしゃってください、

(廣橋絹代) あの、それは聞いてください、

(私) いやいや、

(廣橋絹代) あの、もう法で決まっていますので、

(私) だから、どう、どういう法ですか？ どういう法ですか？

(廣橋絹代) だから、貴方が弁護士に訊いたらいいじゃないですか？

(私) いやいや、私の弁護士じゃないんで、私が連絡取る筋合いじゃないんですよ？

(廣橋絹代) いや、だから、関係、貴方何かドットコムか何かの弁護士に行って来たら、訊いて来たらいいじゃないですか？

(私) いや、じゃあ、じゃあなくて、貴方に答える義務が有るから訊いてるんです。

(廣橋絹代) だから、私は覚書は取り消しません。

(私) なぜですか？ 法的根拠をおっしゃってください。

(廣橋絹代) 法的にそれはもう効果が有るんです、だって何で覚書、覚書を消さなきゃいけないの？

(私) じゃあ何で取り消せないんですか？ それじゃ、ヤクザ商法と同じでしょ？ 一旦結んだらどうして

(廣橋絹代) だから貴方が理由を言ってください。

(私) いや、それはあの、取り消したいからですよ、地主の権利だから。

(廣橋絹代) あ、地主の権利も何も無いです、覚書は、もう効果が有ります、法的に。

(私) だからどうゆう法ですか？ どうゆう法ですか？ どうゆう法ですか？ おっしゃってください。

(廣橋絹代) だからそれはもう、それはだからじゃあ、裁判所でも何でも行って訊いてきたらいいじゃないですか？

(私) いや、いいじゃないじゃなくて、答えを訊いてるんですよ？ 貴方に訊ねてるんです。

(廣橋絹代) だから覚書ってゆうのは、私は土地も要らないしってちゃんと書いてあるでしょ？

(私) いやいや、だから、取り消し、取り消せない理由を訊ねてるんです？

(廣橋絹代) ああ、理由はだから、覚書は大事、大事だからですよ。

(私) いや、大事だから、大事だからじゃないですよ、取り消そうと言って取り消せない

だったらヤクザの商法と一緒にじゃないですか? そこをどう考えるんですか?

(廣橋絹代) だから、法的に効果が有るから、

(私) だから、どんな法ですか? どんな法ですか?

(廣橋絹代) それは訊いてください、もうお答えできません、さようなら。

(私) もしもし、一方的に切るんですね?

以上

20190328 原告 今井豊

20170617 10:17 私の畑(みなかみ町上牧 3517-1)にて廣橋絹代との会話録音 反訳書

(私) こないだっから、毎日のように犬が啼いてるんだけど、どうゆうわけだい?

(廣橋絹代) うちの犬、啼いてないと思います。私に話しかけないように言われたでしょ?
迷惑行為だそうですよ?

(私) いやいや、訊いてるんですけど?

(廣橋絹代) あ、啼いてません。

(私) 啼いてませんで、お前ん家の犬に決まってるじゃん?声から。何、白ばっくれてるん?

(廣橋絹代) 白ばっくれてないですよ。

(私) いや、しらばっくれてるから言ってるんです。

(廣橋絹代) ああそうですか、じゃあ、そのようにしてください。

(私) いや、そうですか、じゃない、そ、それで、最初っから、

(廣橋絹代) ああ、来ないでください、

(私) 最初から犬を飼うなって言って有りますよね?なんで犬が居るんですか?そもそも。

(廣橋絹代) 関係無いです、

(私) その犬が何でここんとこ連日啼いてるんですか?今まで啼いてなかったのに。 どう
ゆう行為ですか? ねえ、答えてください、私はそもそも犬を飼うことなんか認めてません
よ? 地主として。どうしてその犬がまだ居るんですか? しかも毎日のように啼いてるのが
記録されてますよ? 貴方ん家の犬の啼き声に間違いありませんよ? 私は聞き覚え有ります
すから。エッホエッホ毎日毎日啼いてますよ?

(廣橋絹代) そうですか?

(私) どうします?

(廣橋絹代) どうもしません、

(私) 不法行為ですよ?これは。もう即、立退き

(廣橋絹代) 警察呼びますよ? 私、

(私) 立退き理由になりますよ?

(廣橋絹代) やあ、立退きなん、関係無いです。

(私) はい? いやいや、関係無いってどうゆうことなの?

(廣橋絹代) ああ、ちょっと、

(私) 録音してますよ、心配しなくても、してますよ、答えて下さい。

(廣橋絹代) 警察呼びますよ、私

(私) どうぞ、ご自由にどうぞ、

(廣橋絹代) はい、はい、わかりました。かないませんよ、こんなとこまで。今、仕事の邪魔
です。早くここ、あれを植えるんでしょ? ブッキーニを。

(私) しかも一番不思議なのは、私が覗くと、犬が見当たらないのに鳴声がピタッと止まる
んですよ?

(廣橋絹代) お勝手に居ます。誰も居ないんじゃないですか? そうゆう時は。わかりません
けど。

(私) 誰も居ないって、犬から私が見えないんですよ？ その見えない犬に、どうして私が覗き込むのに、何でその鳴声が止むんでしょう？

(廣橋絹代) 警察呼びますよ、警察呼びますよ、

(私) その現象が、

(廣橋絹代) 警察呼びます、

(私) その現象をはっきり捜査してもらわないといけないですね？

(廣橋絹代) ああ、してもらってください、警察に。じゃあ今、呼びますから。

(私) 常時、誰かが私の事を監視してて、

(廣橋絹代) ああ、そうなんですか、そんな暇かしら？

(私) 啼声が止まるってことは遠隔操作してるのか、あるいは

(廣橋絹代) 遠隔なんか、

(私) 中に人が居て止めてるのかってゆうことですよ？

(廣橋絹代) 貴方のじゃありませんし、

(私) 中に人が居て止めてるか、どちらかですよ？ だから意図的に啼かしてる状況は明らかです。

(廣橋絹代) じゃあ、そうなんじゃないですか？

(私) 他に考えられますか？

(廣橋絹代) 警察呼びますよ？

(私) 他に言い訳がなり、成りえ、成り立ちますか？

(廣橋絹代) ああ、もう、うるさいな。貴方みたいな、

(私) どうなんですか？

(廣橋絹代) 貴方みたいな人に何を言っても無駄です。

(私) 警察呼んでください、あの、即、即、立退きを求めます。

(廣橋絹代) あ、関係有りません、弁護士通してください。

(私) いや、通すのは自分でしょ？ 貴方が雇ってるんだから。私が通す筋合いは無いです。

(廣橋絹代) うるさいです、ちょっとトラブルでもう、うるさいです、私のそばに来て。はい、あの、今ねえ、え？ 自宅じゃなくて、ちょっと上のほうの、ええ、

以上

20190328 原告 今井豊

20171003 12:29 廣橋宅(みなかみ町上牧 3158-7)での被告らと会話の録音 反訳書

(私) 二時間半に亘って、

(廣橋絹代) 朝?

(私) 9時半から12時過ぎまで、二時間半に亘ってサンが啼いてたんですけど、どういうことなんでしょう?

(廣橋絹代) わかりません、あたし、ちょっと、留守にしちゃったから。

(私) 何で留守に? 留守の間、何で置いとくん? 持って行けばいいだろ?

(廣橋絹代) 置いとくって、連れて行けません、そんなの。

(私) そもそも飼う事を許可してないよ? 俺は。

(廣橋絹代) 立退きも何も関係有りません。

以上

20190328 原告 今井豊

20180424 19:31 廣橋宅(みなかみ町上牧 3158-7)での会話の録音 反訳書

(私) こんばんわ、

(廣橋絹代) あ、こんばんわ、

(私) お食事済まれましたか?

(廣橋絹代) はい、

(私) あ、そうですか、はい、あのう、最後通牒とゆうか、

(廣橋絹代) あ、そんなことは私に言われても、

(私) そんなこと?

(廣橋絹代) うん、すいません、あの、何かありましたら、弁護士のほうにお願いします。

(私) いえいえ、あの、一般人が当然に判るべき事だからお話してるんですよ?

(廣橋絹代) あの、聞く耳持ちませんので、私。

(私) いや、持たなかったら脅迫になります、

(廣橋絹代) 脅迫じゃ、貴方が脅迫してるじゃないですか? いつも。

(私) どう、どうやってですか?

(廣橋絹代) いつも何か、出て行けとか?

(私) 脅迫?

(廣橋絹代) うん、出て行け

(私) 脅迫って、地主の当然の権利じゃないですか?

(廣橋絹代) だって地主じゃないですよ、もう。私は別に登録はしませんけれど、土地は要らないって、

(私) 地主じゃないって言いましたね? 今。

(廣橋絹代) うん、契約書、あいた、痛いじゃないですか? 止めてくださいよ、これ

(私) 痛いって何ですか? 何、何で閉めようとするんですか? 話し合いですよ? これ。

(廣橋絹代) 話したくないもの。

(私) 話したくない? どうしてですか?

(廣橋絹代) だって、いつも強制的に貴方が言うから、

(私) 何が強制的なんですか? おかしいと思ったら警察呼んだらいいでしょう?

(廣橋絹代) ああ、呼びますよ、じゃ、

(私) ねえ、呼んでください、是非。こう言ってください、民事ではありません、刑事の話を相談したいんで、是非来てくださいと言ってください。

(廣橋絹代) ちょっと聞いて、あ、刑事の、なん、何にもそんなこと罪はしてませんので。

(私) いやいや、刑事的に私が訴えますんで、はい。

(廣橋絹代) あ、どうぞどうぞ、訴えてください、

(私) だから是非、呼んでください。

(廣橋絹代) 今、訴えるの? 訴えるのは警察行かないと駄目よ? いや、訴えても無駄です。

(私) いやいや今、訴えるの。だから司法警察員以上のかたを派遣してくださいと言ってく

ださい。

(廣橋絹代) あ、そんなこと、そんなことはできた、できないと思います。

(私) いや、できないじゃなくって、

(廣橋絹代) だから貴方がもし、そうにしたければ、どうぞ警察に行って訴えてください、どうぞ。遠慮無くどうぞ。

(私) はい、じゃ、まず、まず、申し上げますね。今朝、8時から10時まであの、サンが啼き続けてましたが?

(廣橋絹代) 8時から10時? あ、留守にしたからですかね?

(私) 留守に何で居るんですか?

(廣橋絹代) 何が? 誰が?

(私) 連れて行って言いましたよね?

(廣橋絹代) 連れて行けるわけないでしょ? 会議なのに。

(私) わけないって、貴方の犬でしょ?

(廣橋絹代) そんな、貴方の言う事は聞けません。私の犬でも言う事は聞けません。

(私) 貴方の言う事って、私や、地主ですよ?

(廣橋絹代) 地主なんて関係有りません、いやいやいやいや、

(私) 関係有るだろ?

(廣橋絹代) 貴方があの、無駄な事言っているだけです。じゃ警察ちょっと呼びましょ、ね?

(私) 無駄な事? はい、いや、その前に聞いてください、一通り話しますから。

(廣橋絹代) はい、

(私) その10時の時点で、この家の中に誰か居ましたか?

(廣橋絹代) わかりません、居ません。

(私) 居ません? 居ないですか?

(廣橋絹代) 居ないです。

(私) その他にドスンとかバタンとか変な音がしましたけど?

(廣橋絹代) あ、たぶん犬がね、コーヒーのゴトゴトやってましたので、帰って来たら滅茶苦茶だったので、なんかそれをしたんだと思います。

(私) ああそうですか? へええ、

(廣橋絹代) 私はあの、証明できますから。9時半までにはもう、ちょっと今日会議が有ったので出掛けてます。はい、で、お父さんは、

(私) デイサービス行ってたってことですか? あ、そですか?

(廣橋絹代) そうです、朝8時

(私) あ、そですか? 参考までに何曜と何曜に行くんですか?

(廣橋絹代) あの、デイサービスですか? デイサービスは今のところ、ええと、火曜日、木曜日、日曜日です。

(私) 火、木、日、週三回? はい、火、木、日ね、はい。で、だいたい8時半ぐらいから4時ぐらいまで?

(廣橋絹代) 8時15分ごろ迎えに来て、はい、で、4時半ごろ帰って来ますね、うん。

(私) はい、なるほど、それが一つと。あと前から申し上げ、お願いしてますようにね、立退いてくださいって言うてるんですよ？

(廣橋絹代) あ、そんなことはできません。ここは私達がお金を建ててた、あの、建てたお家ですので。あの、貴方と私で話し合って、あの、貴方は破棄し、破棄しろ破棄しろって私に言ってますけれども、

(私) はい？

(廣橋絹代) 覚書とゆうのが有りますね？

(私) ええ、

(廣橋絹代) あれはとても有効なんだそうです。

(私) ああそうですか？

(廣橋絹代) ええ、だからあの、立退くことはしませんよ。

(私) いや、そうじゃなく、取り消せたものが、あの

(廣橋絹代) 取り消せないです、

(私) どうして？

(廣橋絹代) うん、あれはもうあの、どこに訊いても有効だそうです。私、調べましたので。

(私) あ、一旦結んだものが取り消せないとゆうことは、そもそも結べないとゆうこと、言ってるのと同じ事ですね？

(廣橋絹代) そうじゃなくて、

(私) とゆうことは元々無効なんですよ？ 元々無効ですよ？

(廣橋絹代) ちょっと聞きなさいよ、人の話を。

(私) 貴方の理論を、理屈を敷衍すれば、

(廣橋絹代) 無効じゃないの、お父さんは寝てください。あのね、あの、ちょっと聞いて、なぜ有効かってゆうと、

(私) はい、

(廣橋絹代) 私がはい、破棄をしない限り豊さんがいくら言っても駄目なんだそうです、覚書、印鑑押して、

(私) そんなはずないでしょ？ 貴方、馬鹿、馬鹿なの？ 本当に。

(廣橋絹代) あ、馬鹿じゃないの？ 馬鹿は貴方。

(私) 回覧でいつも警察からか、いろんな情報回ってますよね？

(廣橋絹代) あんなもの回したって、貴方が敵に回すだけ、みんなを。

(私) いやいや、何を言ってるの？ 貴方ねえ、口に気をつけなさいよ？

(廣橋絹代) 貴方こそ、私がなんで立退かなきゃなんないの？

(私) そうゆう情報を知ってる一般人が、そうゆうあの、暴力じみたこと言っちゃいけないでしょ？

(廣橋絹代) 暴力じゃないでしょ？ 何が暴力なの？

(私) 非常識と言うにはあまりに低レベルですね？ そう思いませんか？

(廣橋絹代) ああ、貴方が低レベル、低レベルです、思いません。

(私) 思わないですか？ 思わないこと自体が脅迫だと思いますよ？

(廣橋絹代) はい、私はちゃんとしてると思います。何が脅迫なのよ?

(私) 一般人として当然に判るべき事なんですよ?

(廣橋絹代) 脅迫は貴方じゃないの? 出て行けだのなんだのって、

(私) 聞いてますか?

(廣橋絹代) 聞いてません、そんなことは。聞きたくありません。

(私) 貴方が言ってることは暴力的です。

(廣橋絹代) 貴方が暴力的です、私は暴力的ではありません。

(私) あのね、あのね、私的自治の原則って知ってますよね? 私的自治の原則って知ってますよね?

(廣橋絹代) もう聞く耳は持ちません、ごめんなさい、痛い痛い痛い、痛いじゃないの?

(私) 何で閉めようとするんだ? じゃあ、

(廣橋絹代) 貴方を入れたくないの、

(私) 何で無条件に閉めようとするんですか?

(廣橋絹代) 電話持って来て、電話を持って来て、もう呼ぶようになってるんだから。

(私) どうぞ、どうぞ、

(廣橋絹代) はい、はい、呼びます。もうそれまで話しません。

(私) どうぞ、どうぞ、私は呼んでくださいと言ってるんです、ええ、はい、民事ではないので。

(廣橋絹代) はい、待っててください、あ、民事も糞もないです。

(私) 民事の話ではありませんよと言ってください、民事の話ではありませんよと言ってください、一言。

(廣橋絹代) 脅迫してますよ、貴方は、出て行けとかなんとかって。

(私) 脅迫? 脅迫? 脅迫じよ、脅迫って、貴方が脅迫してるんでしょ?

(廣橋絹代) 私は何も言ってます、豊さんに。

(私) 言動で。

(廣橋絹代) いいえ、全然、何も言ってますよ。もし言っているとすれば勘違いしてますよ。

(私) じゃ、警察が来た上でその、うん、言動の脅迫性を、あの、説明しましよ。早くおいでください、一刻も早くおいでくださいと言ってください。

(廣橋絹代) ああ、すぐ来ますよ、登録してるから、はい。もう、貴方のおかげでもう、このこうゆうものは外にあんまり出すとうるさいので、出していませんから。ゴトゴトゴトゴトね、ゆうとかってうるさいじゃないですか? だから

(私) や、そんな話はどうでもいいから、早くやるべきことをや、

(廣橋絹代) 何をやるべきことがあるんですか?

(私) もう一度言いますよ、一般人として私的自治の原則は当然にわかってるべきことです。

(廣橋絹代) 一般人として?

(私) それに反するようなことを言えば暴力になりますよ? 脅迫になります。

(廣橋絹代) そんなことありません。

(私) 当たり前です。

(廣橋絹代) 脅迫ってな、出て行けとか、ぶっ殺すだとか、早く死ねとか、

(私) 貴方は本当に頭狂ってますか?

(廣橋絹代) あ、狂ってますのは貴方ですね、誰が見ても。

(私) いやいや、ですから、私的自治の原則とゆうのは、例えば警察が民事不介入って言葉聞いたことあるでしょ? それと同じレベルの常識なんですよ?

(廣橋絹代) 思ってますよ、貴方の言うことなんか。警察に聞いてごらんさい。

(私) あ、それが脅迫です。なぜ警察が尋常な正当な訴えに対して反応しないんですか?

(廣橋絹代) 何が脅迫ですか? 貴方。なにが

(私) それが脅迫です。なぜ警察が反応しないんですか?

(廣橋絹代) 知りませんよ、私が聞きたいよ、こんなことしたって全然動いてくれないし。

(私) こんなことするって、何で? ここ私の土地だもん。

(廣橋絹代) 何を言ってんですか? 貴方、人が住んでるところをそんなことするなんて、

(私) なぜ住んでるんですか? なぜ住んでるんですか?

(廣橋絹代) 入ってきちゃ駄目だよ、不法侵入だよ。

(廣橋忠夫) 入ってきちゃ駄目だよ、

(私) この人ねえ、昨日私ん家の生垣、あの、石垣に小便しかけてましたよ。

(廣橋忠夫) 入って来ちゃ駄目、入って来ちゃ駄目、入って来ちゃ駄目、入って来ちゃ駄目、

(私) 私や何も言いませんでしたけど。小便してましたよ、ちんぼこ出して、俺の前で。

(廣橋絹代) そんなことしたの? お父さん

(廣橋忠夫) ち、ち、しないよ、

(私) してましたよ、昨日の夕方、朝か?

(廣橋絹代) あれ? だって、いつ? 朝なん出ないよ、私がいつも朝行くし、

(私) 昨日の朝かもしれない、

(廣橋絹代) 昨日の朝も私です、散歩は。

(私) ん? 俺が戸を開けて見るのは、小便に起きた時だから、昨日か今日の朝ですね。まあいいや、その話は。ええと、ですから、ええ、何度も繰り返しますよ? 私的自治の原則を踏み躪るような

(廣橋絹代) あ、ごちよごちよごちよごちよ言わないで。

(私) いいですか? 一旦結んだものは取り消せないなどと言え、

(廣橋絹代) 取り消せません、うん、取り消せない。聞いて来て。

(私) 当然に違法ですよ?

(廣橋絹代) ああそうですか? はいそうですか?

(私) その点どう思ってるんですか? 当り前でしょ? それは、

(沼田署) もしもし警察です、何が有ったんですか?

(私) はい、知りません、私が通報したんじゃないので。

(廣橋絹代) とにかく廣橋ですけど、来て下さい、はい。

(私) や、はい、って理由も無くなぜ警察を呼んでるんですか?

(廣橋絹代) 呼んでいいって言ったじゃない? 貴方、今。

(私) ん? いいですよ、

(廣橋絹代) だったら黙って聞きなさいよ、

(私) 警察の方、一言いいますが、刑事的な話をしますから刑事、あの告訴状の受理権限の有る人をよこしてくださいね、私イマイユタカですが。

(沼田署) イマイユタカさん?

(廣橋絹代) はい、今、はい、

(沼田署) 住所教えてもらえますか?

(廣橋絹代) 上牧の 3158 の 7 です、

(沼田署) 3158 の 7? で、お名前が?

(廣橋絹代) 私は廣橋と申します、

(沼田署) はい、廣橋さんのお宅は確認できました。

(私) 司法警察員以上のかたをよこしてくださいね?

(廣橋絹代) イマイユタカさんが色々言ってます、

(私) 告訴状の受理権限が有るかたをよこしてください、

(沼田署) なんですか?

(廣橋絹代) はい、ちょっと聞いてあげてください、

(沼田署) 廣橋さん、私と話してもらえますか?

(廣橋絹代) はい、わかりました、はい、

(沼田署) イマイさんて何才ぐらいのかたなんですか?

(廣橋絹代) 57 歳ぐらいだと思いますけど、

(私) どういう脈絡ですかねえ?

(廣橋絹代) まだなっていない?

(私) どういう脈絡での質問ですか? それは。

(沼田署) 何ですか?

(私) 年齢が何の関係が有るのか? 一般人には理解できません。

(廣橋絹代) ちょっとなんかそばでうるさくて聞こえないんですけれども?

(沼田署) 離れてもらえますか?

(廣橋絹代) はい?

(沼田署) 離れてもらえますか?

(廣橋絹代) 離れてもらえ? ちょっと待ってください、

(沼田署) 何か危ないもの持ってますか?

(廣橋絹代) 持ってません、

(沼田署) 持ってませんね? 今ね、とりあえず向かってますからね、

(廣橋絹代) はいはい大丈夫です、はい大丈夫です、はい、うん、何かあの、お家の問題で出て行けとかって例の問題ですね、はい、色々、ま、とにかくはい、警察官のかたに話すと思います。絹代です、絹代、はい、はい、わかりました。住んでません、隣です、隣。はい、わかりました、はい、はい、いいえ、二人です、夫と二人です、はい。はいわかりました、お願いします。 お爺ちゃん、休んでいいですよ。

(私) じゃあ、警察が来たら改めてお話ししましょう。呼んでください、こちらに来るんでしょうから。

(廣橋絹代) はい、はい。

(私) ついでに弁護士も呼んでくれるとありがたいんですが? ついでに弁護士さんも来ませんか? まとも

(廣橋絹代) あ、来れませんね、そんな自由なことはできません、はい、はい、はい。

(私) そうですか、はい、あの、どうせ言うならまとめて言ったほうが、論破したほうがいいと思いますてね。

(廣橋絹代) ああ、あの、聞かないです、貴方の言う事は、すいません。

(私) 誰が?

(廣橋絹代) あたしが。聞きたくありません。もう、図に、何つんだろ? こう、合った話じゃないのでね。

(私) まあいいや、来たらね、はい。

(廣橋絹代) うん、

以上

令和元年 11 月 25 日

前橋地方裁判所 御中

原告 今井 豊

DIV準備書面(3)

第1 立退き問題については、現状追認で構いません

但し、本件建物を残す場合は、所有権移転の為、譲渡承諾書を交付願います。

第2 本訴訟の目的

本件に限らず、全事件とも、訴訟の目的(真意)は包囲網による威力の摘発です。

つまり、検察が全事件を隠蔽し、告訴ができない為に、その打開策としての訴訟です。

やむなく、民事の慰謝料請求訴訟という形を取っているに過ぎません。

要するに、包囲網としての社会的村八分を動機とする加害であるということです。

中でも特に本件は、非人間扱いや反社会性、つまり、公序良俗違反、が際立っていると思いますが、それが被告個人の特性と判定されてしまえば、あまり意味が有りません。

ですから、立退き問題や200万問題の結末よりも、被告の動機への判定が私にとっての焦点ですので、本件単独ではなく、他の事件、特に村八分事件との相互関連性や一貫性として、判定していただきたいと思います。

訴状の請求の趣旨以外の目的は在り得ない、と言われてしまえばそれまでですが、真の紛争解決の為に、是非お汲み取りいただきたいと思います。

そんなわけで、立退きや200万などの部分的和解は構いませんが、本件そのものについて和解し、取り下げることはできません。

第3 受忍限度を超えたのは、個人の尊厳です

不当に居座り、おまけにほしいままに加害し続けたことが、私の自尊心を著しく傷つけ、人格的生存を脅かしたということであり、騒音レベル(静穏権)だけの問題ではありません。

人格権(憲法13条の個人の尊厳、自律権、自決権、静穏権や憲法29条財産権)の侵害であり、同時に、著しい信義則(民法1条)違反と公序良俗(民法90条)違反による不法行為です。

特に、抗議をも無視して、「覚書は取り消せない」旨の発言を繰り返したことは、明らかな公序良俗違反と考えますので、不法行為2または3において判定願います。

第4 村八分と猟銃脅迫事件との動機的関連が疑われます

20191109 正午頃、私の圃場(群馬県利根郡みなかみ町上牧3598-1)において、後からトラックで通りかかった今井育男に、「ハンターグループのリーダーの高橋和俊は、貴方の親戚で、かつ、お宅の今井組(土建屋)の社員か?」と訊ねたところ、肯定しました。

なお、私はこの話を、別の部落(上道木)の人達から聞きましたから、私の地区(吉平)の村人

は皆、当然に既知と思われます。

このように、其々別件である村八分と猟銃脅迫事件の動機的関連が強く疑われる状況であり、本件被告には、そのいずれにも加担の意図があると推定されます。

第5 求釈明への釈明

1 200万を返してもらえと思った理由

①渡した時のやりとり

「少ないけど、先日のご堤案のお金です」と言って渡したのであり、「好きなように使ってくれ」などと言った覚えは有りません。

それに対し「もう登記済なので、持分は入れられません」との発言が有りました。

一般的に当時は1500万では満足な家が建たなかったので、あくまでも出資金のつもりで、全額を無担保カードローンから工面して協力しました。それも告知したと思います。ちなみに、このことによって私は、要注意人物として会社からマークされたはずです。

②堤案の1500万と同質の資金のほずであること

③被告の立場や経緯的蓋然性として、一方的贈与とみなす余地が無いこと

そのような善意無過失を主張するのは狂気ないし非道であり、一般人はしないこと繰り返しますが、たとえ贈与と思い込んだとしても、200万もの大金には、黙っていても領収書を出すのが普通であり、出さなかったことは詐取の意図を示唆しています。

④実父の妹という極めて近い親戚なので、信用していたこと

こんなハイエナのような親戚なら、初めから存在しないほうが、よほどましです。

⑤私の住宅取得を知っていたはずであること

第一に、①の堤案を断る際に告知したからであり、第二に、本件が起るまでは、親しく親戚付き合いしていたからであり、盆や正月には、よく廣橋家での夕食に参加したり、毎年夏には、両家族で一緒に海水浴に行ったりしていた間柄なので、そこで家の話が出ないはずはありません。

200万を返すつもりが無いことを確定的に知ったのは、20170531(甲11)の調停が最初です。

2 覚書破棄の通告

20160425付20160426着の内容証明(甲8)が、本件覚書破棄の最初の通告です。

この内容証明から一年経過後の、20170617 10:17(甲14反訳書)の立退き要求によって、この覚書破棄が成立したと考えます。

3 ペット禁止の通告

犬については、20170617 10:17(甲14反訳書)が、最初の通告だと思います。

ただ、既述の内容証明は、飼主の居住権を認めないという通告ですから、ペットについても、当然に認めないことを含意すると思います。

以上